

(編入学)

平成31年度 入学試験問題

小 論 文

(農学生命科学部 地域環境工学科)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙1枚と下書き用紙1枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

全国の耕地の面積と拡張・かい廃*面積に関する下図を参照して問題(1)～(4)に答えなさい。

問題

(1) 次の文章中の[]内に当てはまる適切な語句を記しなさい。

平成 23 年のかい廃面積は自然災害 [A] の影響により前後の年に比べ多い。また、平成 28 年のかい廃面積は、耕地の荒廃や宅地等への転用に加えて、[B] 地震等の自然災害の影響で平成 27 年よりも多くなっている。

(2) 図中の平成 23 年以降に拡張面積が存在した理由を 50 字以内で説明しなさい。

(3) 図から読み取られることを 200～300 字で説明しなさい。

(4) 耕地面積が減少傾向にある中で、環境に配慮しつつ農作物の生産量を維持ないし増加させるためには、どのような方策が必要であるか、耕地の拡張・かい廃・耕作放棄などの観点から 300～400 字でああなたの考えを述べなさい。

※ 農地の「かい廃」とは

著作権の関係上、省略します。

出典：一般社団法人 全国農業会議所資料 (http://www.nca.or.jp/shinbun/20031212/kotoba031212_2.html)

著作権の関係上、省略します。

図 耕地面積及び耕地の拡張・かい廃面積

出典：農林水産省作物統計面積調査「平成 28 年度 調査結果の概要」掲載の図に加筆
(<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/#r>)